

Shielding積分テストWG
1992年度 第3回会合 議事録(案)

日時 : 1992年7月17日(金) 13:30~17:00
場所 : 日本原子力研究所 本部 第3会議室
出席者 : 市原(京大)、長谷川、川合、桜井、田中、今野、森(原研)、植木(船研)、
佐々木(MAPI)、鈴木(動燃)、竹村(川重)、星合(CRC)、松本(三井造船)、
義澤(三菱総研)、波戸(KEK)、山野(住友原子力)
以上16名 <敬称略・順不同>

配布資料:

SB-92-23: 92 BNL Symposium 投稿について [山野委員]
SB-92-24: JENDL-3 二次ガンマ線生成データの積分評価作業について [山野委員]
SB-92-25: DLC-87 と Nuclear Cross Sections の比較 [波戸委員]

- 議事 : 1. 前回及び前前回会合議事録(案)の確認がなされた。
2. 本WGの現在までの活動経緯が山野委員より説明され、各委員の自己紹介がなされた。
3. JENDL-3 遮蔽積分テスト報告書作成作業進捗状況の報告
- a. 編集担当事務局である桜井委員よりJENDL-3 遮蔽積分テスト報告書作成作業の進捗状況の報告があり、各委員より以下のコメントが出された。
- (1) 編集事務局の作業遅延により、報告書修正作業が大幅に遅れている。
- (2) 図表を含む修正結果を執筆委員及びコメンテータ担当委員に報告していない。
- (3) 報告書作成作業が遅れると今年度活動に多大な影響を与える。
- b. 議論の結果、編集事務局は最終原稿一式を至急各委員に送付することが決められた。また、再修正作業を効率良く実施するため、編集事務局を変更することを含めた作業方法を検討する。この検討は報告書作成担当委員で協議し決定することが承認された。
4. 92 BNL Symposiumについて
- 本年10月BNLで開催される核データ評価法シンポジウムに関連して、山野、川合委員より資料SB-92-23の説明があり、JENDL-3 遮蔽積分テスト評価法について投稿した結果、発表論文として採択されたとの報告があった。本報告は日本の核データ積分評価活動を広く紹介するための絶好の機会であり、内容の充実した発表を行うための準備を実施することが確認された。
5. 本年度作業の一つである二次ガンマ線生成データの積分評価作業について、山野委員より資料SB-92-24の説明がなされた。

- a. 現在までの活動経緯の報告
- b. 平成4年度の活動計画

現在までに実施したベンチマーク解析として、ORNL D-T中性子透過問題及びORNL TSF コンクリート透過問題の予備計算を実施したが、JENDL-3の二次ガンマ線生成データの系統的な積分評価には不十分である。他に良い問題を入手可能かどうか検討する必要がある。そのため、次回会合までに国内外の実験を調査することが決められた。次回会合では市原委員、鈴木委員より調査結果を、義澤委員よりORNL TSFコンクリート透過解析結果をそれぞれ報告することとし、山野委員より、山本委員、秦委員、中島宏氏（原研遮蔽研）に協力を依頼することとした。次回会合で本WGで検討すべき問題を選定し、作業分担を含む作業形態を議論することとした。

- 6. 波戸委員より資料SB-92-25の説明があり、DLC-87 と Nuclear Cross Sections に格納されているH, C, O, Al, Si, Fe, Pbの7核種についての比較結果が報告された。DLC-87 では 50 MeV近傍にサブピークが存在し、共鳴構造を含めた検討が必要であるとのコメントがなされた。また、Feについては 100 MeV以上における全断面積の ENDF/B-VI との差異がどの反応に起因するかの検討および DLC-119 との比較が必要であるとのコメントがなされた。これらの追加検討は次回会合に波戸委員が報告することとし、中高エネルギー中性子核データの検討作業案を次回会合で議論することとした。

次回会合予定：1992年9月28日（月）13：30～17：30
日本原子力研究所 本部 会議室

- 次回予定議題：1) 二次ガンマ線積分テストベンチマーク問題について
2) 二次ガンマ線積分テスト作業計画について
3) 中高エネルギー中性子断面積について
4) 中高エネルギー中性子核データ検討作業計画について
5) その他

以上